

総合的な学習の時間をたのしむプラン

世界遺産とユネスコ

2001.6.21 札幌たの授サークル版

2002.2.25 後書き加筆

仮説実験授業研究会 丸山秀一（北海道）

[質問]

あなたは「世界遺産」という言葉を聞いたことがありますか。「ユネスコ」はどうですか。みんなの知っていることを出し合いましょう。

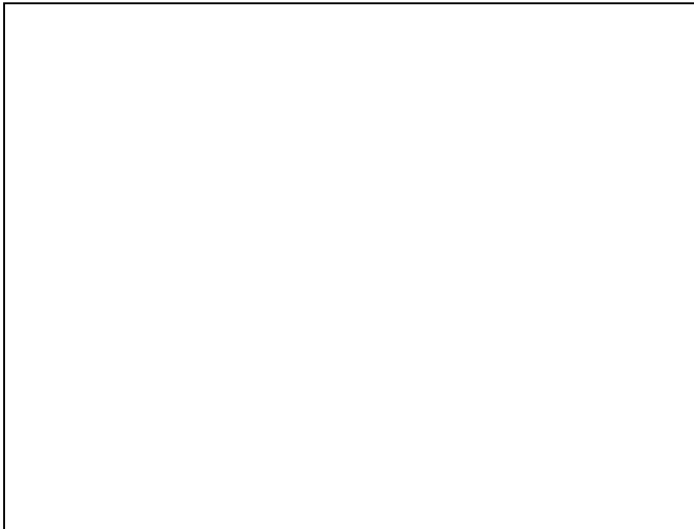


全人類の宝物

遺産とは、先人の残した業績や財産のことで、ふつうは特定の人しかそれを相続することはできません。しかし世界遺産とは、人類全体で相続すべき遺産です。人類全体にとって未来に引き継ぐ価値がある というのが、世界遺産の基準なのです。

[質問]

あなたなら、どんなものを人類全体の宝物として未来の人類に残したいと思いますか。みんなの意見を出し合いましょう。



世界遺産条約とユネスコ

みなさんは、どんなものを世界遺産として未来の人たちに残そうと考えたのでしょうか。ふつう遺産となるような宝物は、大切にしまっておきますね。全人類の宝物である世界遺産を大切にしておくために、世界遺産条約が1972年に結ばれました。その条約では世界遺産を選び保護していくことが定められています。そしてその中心となるのが国連の専門機関であるユネスコ（＝国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific, and Cultural Organization）です。

1945年10月の国連発足後、同年11月の連合国教育文化会議で44か国代表によりユネスコ憲章が起草され、採択されました。その憲章は46年11月4日に発効して、12月には国連との協定によりユネスコは国連の専門機関となったのです。

[質問]

ユネスコはどんな目的で作られたのでしょうか。一番の目的はなんだと思いますか。

予想

- ア 教育・文化・科学技術の振興
- イ 文化・自然などの保護
- ウ 世界平和
- エ そのほか

ユネスコ憲章

ユネスコ憲章の前文には次の言葉があります。

「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから人の心のなかに平和の砦を築かなければならない。」

ユネスコは「二度と戦争を起こしてはいけない」という第2次世界大戦への強い反省の中から生まれました。ユネスコの役目は、お互いの無知や偏見をなくし（国際理解）、国や民族を越えて人びとが協力することを学び（国際協力）、人びとの友情と連帯心を育てながら、共に生きる平和な地球社会を作っていくことです。つまり、これらを通じて戦争を精神面から防止することが意図されているのです。

[質問]

ユネスコは政府間機関ですが、ユネスコ憲章には「政府だけの取り決めでは永続する平和は築けない、人々の連帯の上にこそ築かれなければならない」とうたわれています。そして、そうした市民による民間のユネスコ運動が盛んに行われています。ではそういった民間ユネスコ運動の発祥の国はどこでしょうか。

予想

- ア フランス（ユネスコ本部がある）
- イ 米国（国連本部がある）
- ウ スイス（永世中立国）
- エ 日本（敗戦国）
- オ ドイツ（敗戦国）

民間ユネスコ運動のはじめ

それは日本です。ユネスコの世界平和の精神に共鳴した日本の市民が敗戦後日本各地でユネスコ協会活動を始めました。その始まりは敗戦後間もない1947年にできた世界最初の民間ユネスコ協会である仙台ユネスコ協力会です。翌年には、日本各地の民間ユネスコ運動をまとめる日本ユネスコ協力会連盟ができました。1951年には、日本政府がユネスコに加盟し、日本ユネスコ協力会連盟の名称が、日本ユネスコ協会連盟へと変更されました。敗戦後日本が最初に加入できた国際組織がユネスコで、日本の国連加盟は1956年末のことです。

日本を発祥とするこの民間ユネスコ運動は、現在世界各地に広がっています。

[質問]

では、現在日本各地には、どれぐらいの数のユネスコ協会があると思いますか。

予想

- ア 50 ぐらい
- イ 100 ぐらい
- ウ 200 ぐらい
- エ そのほか

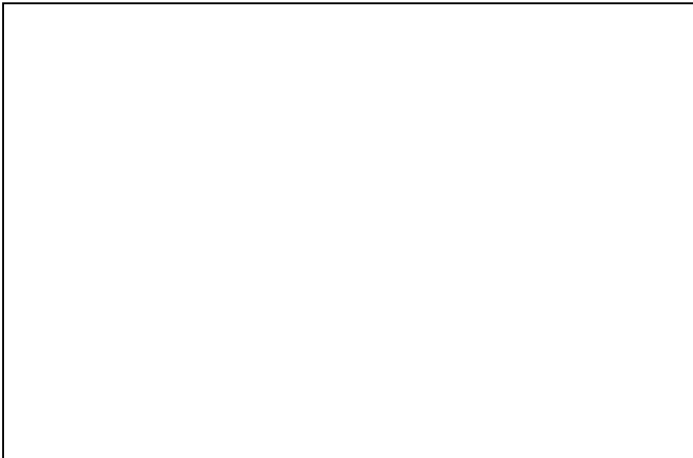
ユネスコ協会

現在日本全国のユネスコ協会は 280 もあります。あなたの住んでいる町にもあるかも知れません。

ユネスコは加盟国に、ユネスコ国内委員会を置いていて、日本では文部科学省におかれています。しかし、日本におけるユネスコの実質的な活動は国内委員会がやっているのではなく、民間の日本ユネスコ協会がやっているのです。

[質問]

世界平和が目的のユネスコがどうして世界遺産を保存する活動をやっているのでしょうか。世界遺産と世界平和にどういう関係があるのでしょうか。みんなの考えを出し合いましょう。



世界遺産をまもるわけ

人類全体の大事な宝物である世界遺産を壊すものは何でしょう。それは、国や民俗、宗教などの対立や偏見、戦争です。世界遺産は、どこかの特定の国・民族・宗教だけのものではありません。だから世界遺産を守っていくことは、国や民族・宗教を越えることです。そうして人類として国際協力ができれば、それは戦争をなくすことになります。それはユネスコの「世界平和」という目的と同じなのです。

[質問]

世界遺産条約に加盟している国は、どれくらいあるのでしょうか。

予想

- ア 世界の 8 割以上の国が加盟
- イ 6～7 割の国が加盟
- ウ 5 割以下の国が加盟

世界遺産の登録

世界遺産条約には、2000年5月現在160カ国が加盟しています。これは全世界の8割以上の国が加盟しているということです。

条約加盟国は、国内の世界遺産候補地を世界遺産委員会へ推薦します。世界遺産委員会は、候補地を調査して、世界遺産への登録を決定します。

世界遺産は、次の3種類に分かれて登録されます。

- ・ 文化遺産（人間が作った建造物や遺跡）
- ・ 自然遺産（地球が作った生物・景観などを含む地域）
- ・ 複合遺産（文化遺産と自然遺産の両方）

[質問]

ではこれらの世界遺産は、現在どれくらい登録されているのでしょうか。

予想

- ア 100 ぐらい
- イ 500 ぐらい
- ウ 1000 ぐらい
- エ そのほか

[質問]

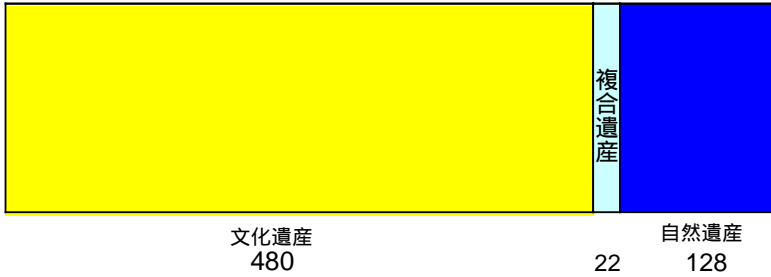
2000年1月現在，世界遺産リストに登録された数は630
です。では文化遺産と自然遺産はどちらの方が多いと思
いますか。

予想

- ア 文化遺産の方がずっと多い
- イ 同じくらい
- ウ 自然遺産の方がずっと多い

文化遺産は 480 ,自然遺産は 128 ,その両者にあてはまる複合遺産は 22 です。

世界遺産の分類



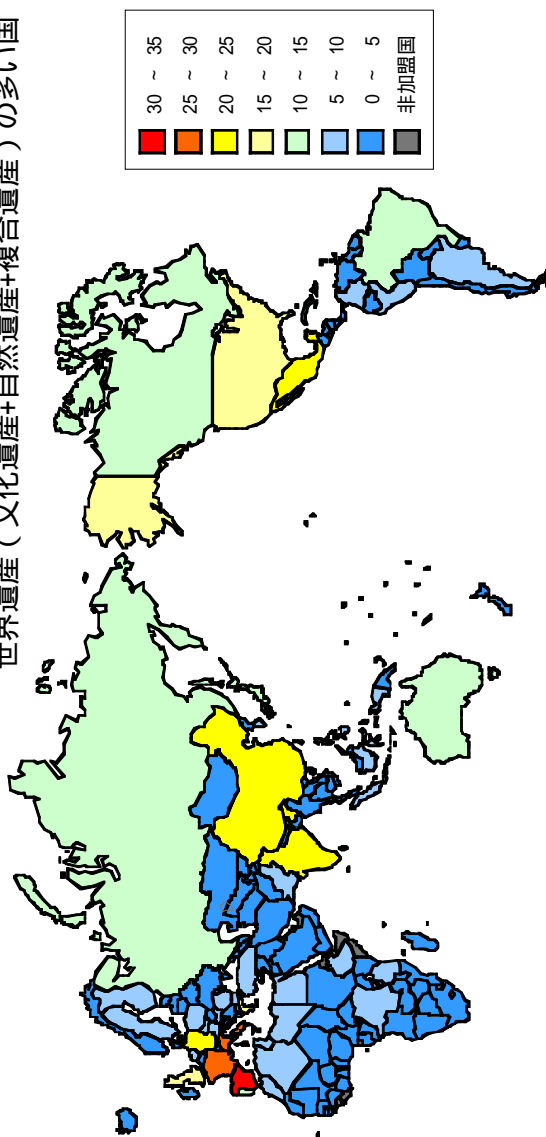
[質問]

世界遺産が一番多い国はどこだと思いますか。ベスト 3 を予想してみましょう。

順位	予想	結果
1		
2		
3		

世界遺産の名産地

世界遺産（文化遺産+自然遺産+複合遺産）の多い国



世界遺産の多い国ベスト 10

国名	世界遺産
スペイン	31
イタリア	29
フランス	26
中国	23
インド	22
ドイツ	22
メキシコ	21
アメリカ	19
イギリス	18
ギリシャ	16

[質問]

世界遺産のうち、人間が作った遺産である文化遺産の多い国はどこでしょうか。上の表を見ながらベスト 3 を予想してみましょう。

順位	予想	結果
1		
2		
3		

文化遺産の多い国ベスト 10

国名	文化遺産
スペイン	29
イタリア	29
フランス	25
ドイツ	21
中国	20
メキシコ	19
インド	17
イギリス	14
ギリシャ	14
トルコ	11

世界遺産のほとんどが文化遺産なので，世界遺産の多い国の順番とだいたい同じになっています。

[作業]

文化遺産は人間が作ったものですから，人口と文化遺産の数は関係があるのかも知れません。

別紙に，その国の面積が人口に比例するように描いた地図がありますから，その地図に文化遺産の数だけドット打ちをしてみましょう。新しい発見があるかも知れません。

[質問]

世界遺産のうち，地球が作った遺産である自然遺産の特に多い国はどこでしょうか。それとも自然遺産は，地球が作ったものですから，地球全体に分布してあって，特に自然遺産が多い国はないでしょうか。

ベスト3を予想してみましょう。

順位	予想	結果
1		
2		
3		

[作業]

予想を出し合ったら，どの予想が正しいか，別紙の世界地図にドット打ちして確かめてみましょう。

これから

ふたつのグラフを作って、どんなことを思いましたか。自然遺産はどんな国に多いのでしょうか。日本にはどんな世界遺産があるのでしょうか。

世界遺産に登録されると、ユネスコを通じて遺産保護のための資金や技術が提供されます。そのための資金は、ユネスコ加盟国が出す分担金と、世界中からの寄付によって成立しています。

でも本当に大切なことは、遺産を守ることではありません。人類全体で、人類全体の遺産を保護していくことに意味があるのです。人類が国や民族や宗教を越えて一つになって行動すれば、戦争なぞ起こることはないのですから。

あなたの気に入った世界遺産や疑問に思ったことなどをこれから調べていきましょう。ユネスコについて調べるのもおもしろいでしょう。そして調べたことをみんなで発表しましょう。

プランについて

今年より勤務校でも「総合的な学習の時間」を取り入れることになりました。そんなときにすでに実施している学校に勤務している松本陽子さんから「私が担当して、指導要領にある 国際理解 として世界遺産について取り上げるのだけど」という話を聞きました。「総合的な学習の時間」の内容は、指導要領の例示に縛られる必要は全くないのになぁ」と思ったのですが、「世界遺産って何かな」と疑問がわいてきて、自分でも調べてみました。そしてユネスコの理念に感動して作ったのがこのプランです。松本さんは同僚の宗像雅美さんと一緒にこのプランを豊浦高校の3年生のみなさんと授業してくれました。生徒さんたちにも気に入ってもらえたようでとてもうれしかったです。

また、その後小笠原智さんが校内研修でこのプランを使って総合的な学習の時間についての研修会を開きました。そこでの教師たちの反応もなかなかおもしろいです。

「総合的な学習の時間」の設置は、「子ども不適應」を起こしてきている現在の学校教育への処方箋の一つとして導入されたものです。しかし、それはうまくいかないでしょう。というのは、現在の教科教育でさえ「教えるに値する内容」はわずかしかないからです。それでも教師たちは、教科書という権威の下で授業を押しつけてきました。ですから多くの教師たちは、「総合的な学習の時間」でも同じ発想をして、(教科書はないので)指導要領の例示してあることを押しつけていくことでしょう。しかし、それは全くも

って「総合的な学習の時間」導入の意図に反するものです。

仮説実験授業は、教科の枠を原理的に越えている「総合学習」です。なぜなら、仮説実験授業は、指導要領準拠ではなく「子ども準拠」だからです。だから「総合的な学習の時間」に仮説実験授業は、ぴったりなのです。でも、そのあまりに変革的な思想のため、仮説実験授業は急激に広まることはありません。現実問題として「総合的な学習の時間」に仮説実験授業を実施するのは難しい場合が多いでしょう。そうしたとき、どうしたらよいのでしょうか。「つまらない内容を押しつけるぐらいなら、何もしないほうがよい」というのもひとつの方法です。

ボクは「世界遺産なんて学ぶ意義はないのではないかと予想していましたが、調べてゆくうちにおもしろい「問題」をいくつも発見してしまいました。小さな国々に世界遺産が固まっている中米に行ってみたい気がしますし、自然遺産の分布には作為的なものを感じます。また、日本発祥の民間活動であるユネスコには誇りを感じるとともに、米国の脱退や、援助の方法などについては多くの問題を感じます。しかし、世界遺産の理念は、きっと生徒さんたちにも気に入ってもらえるような気がします。

そして、押しつけでなく、生徒さんたちに興味をもってもらえるように作ったのが、このプランです。ですから、生徒さんたちから、たくさんの意見や疑問を引き出すことが目的で、世界遺産についての学習であるのに、世界遺産そのものについては全く触れないという極めて「異色」の

プランです。そういうところは、興味をもった生徒さんたちに調べてもらおうというのです。

[質問]はさらっとすませて、ドット打ちをたのしんでください。ドット打ち用の地図作製のため、平野孝典さん(街屋)の地図データを使わせていただきました。使用を快く承諾してくださいました平野さんに感謝申し上げます。

そして、プランを作るきっかけとなり、実際に授業をやってくれた松本陽子さん、研修会で取り上げてくれた小笠原智さんに感謝申し上げます。

仮説実験授業研究会 丸山秀一(北海道)

kasetsu.maruyama@nifty.com (Email で反応をどうぞ)

文献

平山郁夫『ユネスコ世界遺産年報 2000』 平凡社

『スーパー・ニッポニカ 2001』 小学館

平野孝典『国旗 ROM』

日本ユネスコ協会連盟「世界遺産」ホームページ

<http://www.unesco.or.jp/sekaiisan/history.htm>

TBS「世界遺産」ホームページ

<http://www.tbs.co.jp/heritage/index-j.html>